

平成30年度

決算審査

決算特別委員会

私たちの税金
どう使ったの？



細かくチェック
しました！



平成30年度決算については、決算特別委員会で審査し各委員から数多くの質疑がありました。その中の主なものを紹介します。

地域活動奨励事業

Q 町内のアパートに住み、地域貢献活動を行う県立女子大学生に奨励金を交付する事業だが、昨年度の実績は。

A 概算の数字ではあるが、昨年度、他市町村へふるさと納税した額は5900万円、それにより町税が2600万円ほど減収になった。ただしこの減収分に対して75%が交付税措置されることとなっているため、減収額から交付税措置される額を差し引くと赤字額は650万円となる。しかし、本町へのふるさと納税が2900万円の黒字であるため、最終的には2260万円の黒字と言える。

ふるさと納税奨励事業

Q 昨年度のふるさと納税寄附金は約5460万円、返礼品等事業費は2533万円ほどだった。差し引きすると約2900万円の黒字となるが、本町からも他市町村へふるさと納税している。最終的な町の収支は。

A 33人乗りの町専用バスの借り上げを行い、各種団体等の会議や視察研修等に昨年度は年間127回利用した。距離が150キロメートル以内で、必ず町職員が随行することなどの利用要件がある。

庁用バス業務委託料

Q この事業の内容と利用回数は。また利用するための要件は。

道の駅玉村宿

A 昨年度は20人に支給決定したが、実際支給できたのは17人であった。今年度は決定者全員に活動してもらえよう支援や連携を強化している。

道の駅玉村宿

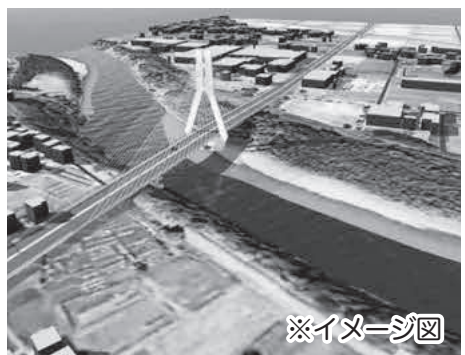
Q 施設等修繕料39万円、工事請負費33万円を支出しているが、その内容は。

A 道の駅にある赤ちゃんの駅の水回りが故障し、その費用が20万円を超えたため、設置者である町負担で施設修繕を行った。また、高崎側のスマートインターチェンジ近くに道の駅の案内看板と道の駅駐車場の長時間駐車に対する警告看板の設置工事を行った。

新橋建設促進化事業

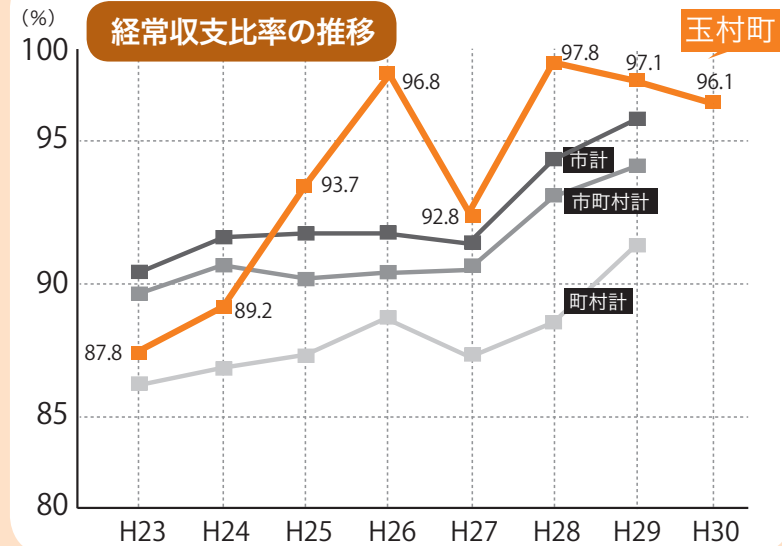
Q 町は平成30年度にのぼり旗を作成し、新橋建設を促進するとしていたが。

A 事業効果を考え、当初ののぼり旗からDVDの作成に変更した。ドローンで空撮した映像や、CGを使った新橋予想図などを収めたDVDを、県への要望活動や会議等で見てもらい、新橋建設の促進を図った。



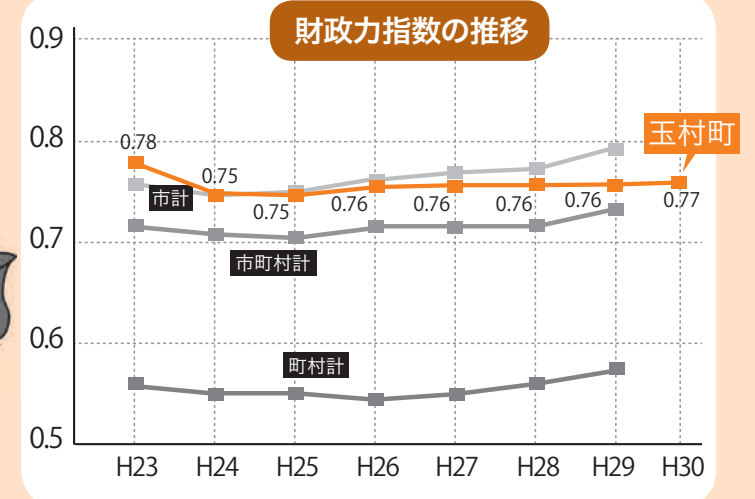
※イメージ図

玉村町の財政状況



経常収支比率…**96.1%**
昨年度より1.0ポイント改善

比率が高いほど臨時的な経費に使用できる一般財源が少なく、財政構造が弾力性を失っていることを示します。



財政力指数…**0.77**
昨年度より0.01ポイント上昇

財政力指数が1.00以上になると財政が豊かであるとして、国からの普通交付税が交付されなくなります。



健全化判断比率…玉村町は早期健全化基準を下回っており、健全です

項目	内容	28年度	29年度	30年度	早期健全化基準
実質赤字比率	自治体の一般会計の赤字程度	—	—	—	13.99%
連結実質赤字比率	特別会計も含めた赤字の程度	—	—	—	18.99%
実質公債費比率	実質的な借金の返済額の割合	3.6%	4.0%	4.5%	25.00%
将来負担比率	将来支払うことになる負担	9.6%	5.2%	7.7%	350.00%

実質赤字・連結実質赤字が算定されない場合は「—」を記載しています。

町の貯金・借金の状況

項目	金額	1人当たり	昨年度との比較
積立金現在高	20億7369万円	5万6865円	1億8730万円 (8.3%) 減
地方債現在高 (債務総額)	98億9394万円	27万1312円	2億6338万円 (2.6%) 減
将来の財政負担	78億2025万円	21万4447円	7608万円 (1.0%) 減